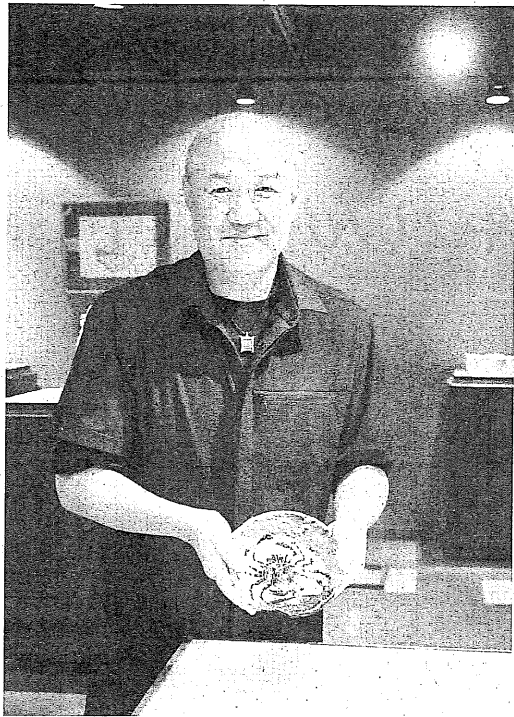


「料理人と対話」する 魯山人の器の魅力

SUWAガラスの里美術館で12日から作品展



「希才咲きさだまりて諏訪 北大路魯山人展」への来場を呼び掛ける日本精機工業の濱一社長

諏訪市豊田のSUWAガラスの里美術館で12日から「希才咲きさだまりて諏訪 北大路魯山人展」が開かれる。すわ魯山人展実行委員会（黒田草臣実行委員長）が主催。書、陶芸、絵画、料理などさまざまな分野に精通した芸術家北大路魯山人（1883～1959）。

今回は日本精機工業（同市中洲）が所有する魯山人の陶芸作品など55点が並ぶ。11月3日まで。日本精機工業の濱一社長が魯山人の作品と出合ったのは8年前。黒田実行委員長が社長を務める陶磁器専門店「しずや黒田陶苑」（東京都）で目にした「不二鉢」の美

日本精機工業 所有の55点並ぶ

「不二鉢」のほか、代表作として知られる「椿鉢」、数十枚しか現存していないという「織部蟹絵文平向付」なども展示。図録の作成や解説を担当した黒田実行委員長は「魯山人は芸術品としてのみではなく、自分で使うために作品を作った。ぜひ器が実際に使われるところを想像しながら鑑賞してほしい」と話している。

開館時間は午前10時～午後6時（初日は午後3時から。10月以降は午後5時まで。火、水曜日休館。入館料1000円（中学生以下無料）。問い合わせは平日に、実行委事務局（電話080・13321・1313）へ。（作増唱太）

「当地の食材を活用したメニューで諏訪を盛り上げる飲食店有志の「信州みそ天井会」（宮坂友子会長）は、来月行う「糸萱かぼちゃを食べよう！」キャンペーンの参加店舗を11日まで募集している。

キャンペーンは10月10～31日。信州の伝統野菜で茅野市内の特産の糸萱カボチャを地元の人たちにも味わってもらおうと、地元生産者組合と共同で毎年行う。各店でカボチャを使った料理を提供し、3店舗以上を巡って食し、ス

「第13回瓢箪」午後6時30分町の手成館で開香りを岡谷で味ち、毎年開催しは春風亭柳枝さ3000円（おき）。予約は同店6・22・74

糸萱かぼちゃ食べようキャンペーン

信州みそ天井会が参加店舗を募集

塩嶺王城 日本土真ん中

きょうから参加者

紅葉などを楽しみながら歩く。参加費は高校生以上1000円下無料。参加特典として天然水のル500㍈、1本とチロルの森無豚汁のサービスがある。地域の物当たる抽選会やスタンプリ、食、雨具、飲料水などは持参する専用紙で申し込み込む0人の先着順で、申し込み締め切日。問い合わせは実行委員会事務局スポーツ協会（電話0263・53）へ。